

製品名: HIF1A マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80975**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	120kDa

抗原情報

遺伝子名	HIF1A
別名	HIF1; MOP1; PASD8; bHLHe78; HIF-1alpha; HIF1-ALPHA; HIF1A
遺伝子 ID	3091.0
SwissProt ID	Q16665
免疫原	大腸菌で発現したヒト HIF1A の精製された組み換え断片。

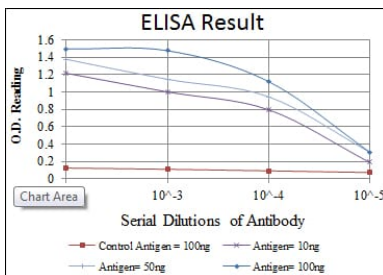
背景

低酸素誘導因子 1 (HIF1) は、低酸素圧下で培養された哺乳類細胞に見られる転写因子であり、低酸素状態に対する細胞および全身の恒常性維持反応において重要な役割を果たします。HIF1 は、 α サブユニットと β サブユニットからなるヘテロ二量体です。 β サブ

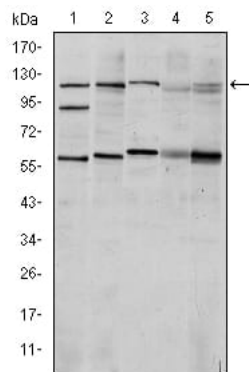
ユニットは、アリール炭化水素受容体核移行因子 (ARNT) として同定されています。この遺伝子は HIF-1 の α サブユニットをコードします。この遺伝子の天然アンチセンス転写産物 (aHIF) の過剰発現は、非乳頭状腎癌と関連することが示されています。異なるアイソフォームをコードする 2 つの代替転写産物が同定されています。(RefSeq 提供) 組織特異性: ほとんどの組織で発現しており、腎臓と心臓で最も高いレベルで発現しています。腫瘍内低酸素状態の存在と、腫瘍タンパク質および腫瘍抑制因子をコードする遺伝子の変異の結果として、一般的なヒト癌およびその転移の大部分で過剰発現します。

研究分野

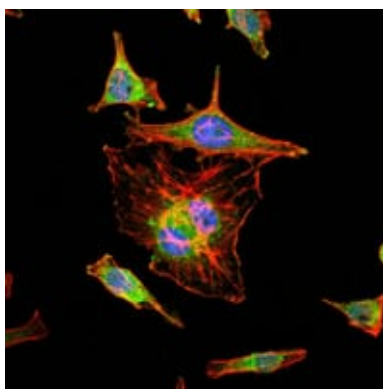
画像データ



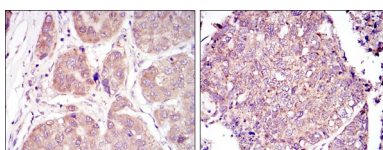
赤: コントロール抗原 (100 ng); 紫: 抗原 (10 ng); 緑: 抗原 (50 ng); 青: 抗原 (100 ng);



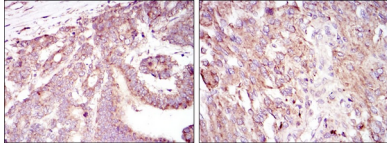
Cos7 (1)、HeLa (2)、Jurkat (3)、RAJI (4)、NIH/3T3 (5) 細胞溶解物に対する HIF1A マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



HIF1A マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



DAB 染色による HIF1A マウス mAb を使用した、パラフィン包埋ヒト肝臓癌組織 (左) と肺癌組織 (右) の免疫組織化学分析。



DAB 染色による HIF1A マウス mAb を使用した、パラフィン包埋ヒト胃癌組織 (左) および脳腫瘍組織 (右) の免疫組織化学分析。